

ふるさと 通信員だより

vol.200

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



今年3月で閉校となる南中音更小学校(水口一校長、児童8人)で、第22回目にして最後の「ふるさと先生大集合」がにぎやかに開催されました。今回のふるさと先生は、音更町更生保護女性会(高田徹子会長、会員35人)の会員5人で、むかし遊びを伝承しました。児童は同会が手作りしたお手玉や竹割り、チャシで作るパッチなど、持参した5種類の遊具で、遊びの面白さやコツなどを習いました。松井翔惺君(3年)は「パチパチ音がする羽根つきが楽しい」と頬を赤くして遊んでいました。興味津々の遊具に、体育館には児童の歓声と笑顔があふれていました。



たかだ てつこ
高田徹子 通信員

最後の ふるさと先生



心のサロンSmiley代表の佐々木祥子さん(緑陽台南区)はケアストレスカウンセラーとして「みんな笑顔になあれ」を合言葉に、定期的に子育て世代の親などを対象に子育ての悩みなどを気軽に話せる機会をつくっています。町内在住の参加者の1人は「自分のことを聞いてもらえるし、他者の話を聞くことで考え方が広がる」と話してくれました。代表の佐々木さんは「ひとりで抱え込まず、まずは話してみませんか。きつと選択肢が広がるはず」と、呼びかけています。参加を希望する人は、佐々木さん(☎090-1385-7640)へ。



いしだ ひさよ
石田尚世 通信員

みんな笑顔に なあれ